

東京都知事

小池 百合子 殿

J R 中央線三鷹駅立川駅間複々線化事業及び
多摩都市モノレール延伸の促進に関する要望

令和6年10月23日

三鷹・立川間立体化複々線促進協議会

会長 立川市長 酒井 大 史

多摩地域都市モノレール等建設促進協議会

会長 立川市長 酒井 大 史

日頃から三鷹・立川間立体化複々線促進協議会及び多摩地域都市モノレール等建設促進協議会に対し御高配を賜り厚くお礼申し上げます。

多摩地域は、420万人を超える都民の生活の場であるとともに、多様な産業の集積等により東京の発展を支える重要な地域であります。また、多摩地域の各市町村では、少子高齢社会における定住促進や観光振興等に取り組んでおり、公共交通の整備促進は、これらの施策を推進するための基盤となるものであります。

国の諮問を受け、平成28年4月に策定された交通政策審議会の答申「東京圏における今後の都市鉄道のあり方について」においては、地域の成長に応じた鉄道ネットワークの充実に資するプロジェクトとして、中央線の複々線化、多摩都市モノレールの延伸が位置付けられたところであり、両協議会といたしましても事業化に向けて、大いに期待しているところであります。

そこで、別記の事項につきまして、要望いたします。

記

1. 三鷹・立川間立体化複々線促進協議会要望

利用者の利便性の向上、鉄道ネットワークの信頼性・安定性の向上、都市間連携強化など大きな効果が見込まれる、JR中央線三鷹駅立川駅間複々線化事業の実現に向けた法整備及び費用負担のあり方並びに青梅線立川駅西立川駅間三線高架化事業実現に向けた支援を国に強力に働きかけるとともに、事業スキームを含めた事業計画の検討を進めることを要望する。

2. 多摩地域都市モノレール等建設促進協議会要望

上北台から箱根ヶ崎間の延伸について、令和5年12月には、都市計画案及び環境影響評価書案並びに関連する都市計画道路の都市計画案に関する説明会が開催されたことにより、2030年代半ばの開業に向けて手続きが着実に進んだものと捉えている。

引き続き、多摩地域構成団体の総意として、箱根ヶ崎方面、町田方面及び八王子方面の延伸の実現に向けて、事業化に向けた具体的な調整、事業計画の検討を進めることを要望する。

以上